

今週のフレーズ&ワード

be entitled to ~

~~する権利・資格がある~

昨年末、政府は男性国家公務員の、1か月以上の育児休業取得を促進する原則を打ち出しました。男子学生の間でも育児への関心が高まっています。欧州では産休・育休制度の充実している国が多いのに対し、米国のように国としては有給の産休や、育休の制度がないところもあります。わが国は、制度はあるものの、男性の育休取得率はわずか6.4%（2019年）。外国人の間では、そもそも In Japan, it's hard to ask for paid leave.（日本では有給休暇を申請しにくい）といった認識があり、日本で働くことを躊躇する一因となっているケースも少なくありません。休業・休暇が堂々と取れる環境づくりが不可欠だといえそうですね。

Parents are entitled to take parental leave up to one year.
親には、最長1年にわたり育児休業を取得する権利があります。

be entitled to ~は「~する権利・資格がある」というフレーズ。国民・社員・会員など、コミュニティーや組織の人間が、一定の要件を満たしていれば何らかの権利・恩恵・特典などを有する場合に使われます。

育児休業（休暇）は parental/childcare leave。産休（産前産後休業）は maternity leave ですが、男性の取得する産休・育休を paternity leave ということもあります。（ラテン語：母親 mater、父親 pater）

Our company's benefit scheme entitles you to childcare leave up to 52 weeks.
当社の福利厚生制度は、最長52週間の育児休業を付与しています。

権利・資格を提供するほうを主語にした言い方。to は前置詞で「entitle+人+to+名詞句」の形です。

leave（休業・休暇）を使ったフレーズには、annual leave（年次休暇）、sick leave（病気休暇）、home leave（一時帰国休暇）なども。paid か unpaid を前につけて有給か無給かを示せます。会話では有給休暇を paid holiday とすることも多いです。

Irish and qualifying Commonwealth citizens living in the UK are also entitled to vote.
英国在住のアイランド人や条件を満たす英連邦市民もまた投票権を有します。

同じく「権利・資格を有する」という用法です。英国の選挙制度はオープンですね。Commonwealth（連邦）は一般的には英国旧植民地の緩やかな連合を指すと考えていいでしょう。

単語・熟語チェック

parental 親の

Commonwealth（英）連邦

up to~ 最長・最大~まで

vote 投票する